

# 水銀濃度測定結果等調査 調査票記入の手引き

## 目次

- 1 水銀濃度測定結果等調査の目的
- 2 調査票の記入方法
- 3 調査票の提出方法
- 4 届出事項を変更する場合

## 資料編

- 記入例 1 使用実績のあった施設
- 記入例 2 使用実績のなかった施設
- 資料 1 すいすい調査票の使い方
- 資料 2 水銀濃度の合算方法と表示方法

令和 8 年 6 月

横浜市 みどり環境局 大気・音環境課 大気担当

# 1 水銀濃度測定結果等調査の目的

工場・事業場に設置された「水銀排出施設」（以下「施設」といいます。）は、「大気汚染防止法」（以下「法」といいます。）に基づく水銀濃度測定を行うことが義務づけられています。

横浜市では、法に基づく規制基準の遵守状況を確認することを目的に、法に基づく届出がされた工場・事業場の方に、「水銀濃度測定結果等調査票」（以下「調査票」といいます。）をお送りし、必要事項を記入して御提出いただくことをお願いしています。

なお、本調査結果は、環境省に情報提供しますので、あらかじめ御了承くださいますようお願いいたします。

# 2 調査票の記入方法

令和7年度末までに法に基づき届出された各施設に対して、調査票を作成してください。令和7年度中に廃止した施設についても、使用実績に応じて調査票を作成してください。調査票の記入方法は、次の2種類があります。

なお、令和7年度、休止中又は廃止した施設に関しても、ご記入をお願いします。

## (1) 調査票に直接記入する場合

調査票に必要事項を記入の上、提出してください。

使用実績のあった施設は **記載例1** をご覧ください。

使用実績のなかった施設は **記載例2** をご覧ください。

## (2) 「すいすい調査票」を利用する場合

ガス状水銀と粒子状水銀の濃度の測定結果と施設の種類を入力するだけで、調査票に必要な酸素濃度補正值や全水銀濃度の算出が簡単にできる「すいすい調査票」を横浜市ウェブページに掲載しています。

すいすい調査票をダウンロードして必要事項を入力の上、提出してください。

→ 使い方は、 **資料1** 「すいすい調査票」の使い方 をご覧ください。

### 3 調査票の提出方法

来庁、郵送、電子メール又は電子申請のいずれかの方法で提出してください。なお、電子メール及び電子申請による提出の場合、副本の発行はできませんが、受付完了のメールをお送りいたします。

#### (1) 来庁

副本の返却を希望される方は、調査票を2部ご用意の上、届出先までお越しください。1部に受付印を押印してお返します。

#### (2) 郵送

届出先に記載の宛先・住所に郵送してください。

副本の返却を希望される方は、調査票2部と返信用封筒（宛先記入、切手貼付済み）を同封してください。1部に受付印を押印した後、返信用封筒で返送します。

#### 届出先

宛先 | 横浜市 みどり環境局 大気・音環境課 大気担当

住所 | 〒231-0005  
横浜市中区本町6丁目50-10

電話 | 045-671-3843

受付時間 | 月曜日～金曜日  
8:45～12:00、13:00～17:00  
祝日、休日を除く



#### (3) 電子メール

次のメールアドレスに調査票を添付して送付してください。なお、添付する調査票（Excel又はPDFファイル）にはパスワードをつけてください。

メールアドレス：[mk-taikihg@city.yokohama.lg.jp](mailto:mk-taikihg@city.yokohama.lg.jp)

件名：【送付】R08年度水銀濃度測定結果等調査票について

パスワード：（※）

（※）お送りした「令和8年度 水銀濃度測定結果等に関する調査について（依頼）」をご確認ください。

#### (4) 電子申請

横浜市電子申請・届出システムにログインの上、『【大気汚染3】水銀排出施設に関する手続』にて水銀濃度測定結果報告を行ってください。なお、1申請あたりファイル個数は最大10個まで、最大データ量は100MBまで、ファイル形式はExcel又はPDFファイルとなります。

横浜市電子申請・届出システム

- > 手続き一覧（事業者向け）
- > キーワード検索にて「【大気汚染3】水銀排出施設に関する手続」で検索

(横浜市電子申請・届出システムのURL)

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/portal/home>

## 4 届出事項を変更する場合

調査票の記載事項が届出されている情報と変更があった場合等については、法に基づく届出手続きが必要な場合があります。

### (1) 届出が必要な場合・届出をする時期

届出が必要な場合	届出書名称	届出時期
水銀排出施設の設置	水銀排出施設設置届出書	工事着工の
水銀排出施設の構造変更、使用方法変更 水銀の処理方法の変更	水銀排出施設変更届出書	60 日前まで
法人名称の変更、住所の変更、代表者の変更 工場・事業場の名称変更、住所表記の変更	氏名等変更届出書	事由発生後 30 日以内
水銀排出施設の譲り受け、借り受け 法人の相続、合併、分割	承継届出書	
水銀排出施設の廃止（一部廃止も含む）	使用廃止届出書	

### (2) 届出について

各届出用紙は、横浜市のウェブページから届出書の様式をダウンロードして、必要事項を記入して提出してください。

（水銀排出施設に関する手続き）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/kiseishido/akushu/suigin/hg.html>

※届出は、正副 2 部作成して提出してください。

副本は、受付印を押印後にその場でお返しします。

### (3) 電気事業法等に係る届出について

経済産業省 関東東北産業保安監督部 電力安全課へ届出が必要です。

経済産業省 関東東北産業保安監督部 電力安全課

〒330-9715

埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 1 さいたま新都心合同庁舎 1 号館

電話 048-600-0388（自家用係）、0391（発電係）

記入例 1

使用実績があった施設

水銀濃度測定結果等調査票		(令和 7 年4月1日 ~ 令和 8 年3月31日実績)		提出期限	令和 8 年 7 月 10 日		
1. 工場・事業場の概要							
届出者(氏名又は名称)	①						
工場又は事業場の名称							
工場又は事業場の住所							
2. 施設の概要							
水銀排出施設の種類	②						
工場又は事業場における施設番号							
施設の使用状況						使用中	・
3. 水銀濃度測定記録							
測定者(個人名は不要)	ア						
試料採取位置							
測定について						(再測定)	ではない
【全水銀】(酸素濃度補正值)	測定値	③	測定単位	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$	測定時の排ガス流量(乾)	④	$\text{Nm}^3/\text{h}$
					当該年度の年間稼働時間	⑤	時間
【ガス状水銀】							
測定年月日	⑥ / ⑦ / ⑧	ウ1					
Cs(実測値)	測定値	⑨	測定単位	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$	(ガス状水銀)定量下限値	⑩	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
C(酸素濃度補正值)	測定値	⑪	測定単位	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$	(ガス状水銀)検出下限値	⑫	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
酸素濃度	測定値	⑬	測定単位	%			
【粒子状水銀】							
測定年月日	⑭ / ⑮ / ⑯	ウ2					
Cs(実測値)	測定値	⑰	測定単位	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$	(粒子状水銀)定量下限値	⑱	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
C(酸素濃度補正值)	測定値	⑲	測定単位	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$	(粒子状水銀)検出下限値	⑳	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
酸素濃度	測定値	㉑	測定単位	%			
備考							
オ							
5. 記載担当者							
所属	⑳						
電話番号	㉒						
フリガナ	㉓						
氏名	㉔						

※ 令和 8 年 3 月 31 日時点で廃止されていない水銀排出施設ごとに年度間に水銀濃度を測定した回数分、調査票を作成してください。

## 【届出情報等】

### ① 工場・事業場の概要

令和8年3月31日時点における水銀排出施設に関する届出情報を記入してください。

項目名	記入内容
届出者（氏名又は名称）	届出に記載されている法人名
工場又は事業場の名称	届出に記載されている工場又は事業場の名称
工場又は事業場の住所	届出に記載されている工場又は事業場の住所

### ② 施設の概要

令和8年3月31日時点における水銀排出施設に関する届出情報を記入してください。

項目名	記入内容
水銀排出施設の種類	届出されている水銀排出施設の種類のうち該当するものを次の中から選択して記入してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・（1項）小型石炭混焼ボイラー（石炭火力発電所）</li><li>・（1項）小型石炭混焼ボイラー（産業用石炭燃焼ボイラー）</li><li>・（2項）石炭専焼ボイラー（石炭火力発電所）</li><li>・（2項）石炭専焼ボイラー（産業用石炭燃焼ボイラー）</li><li>・（2項）大型石炭混焼ボイラー（石炭火力発電所）</li><li>・（2項）大型石炭混焼ボイラー（産業用石炭燃焼ボイラー）</li><li>・（3項）一次施設 銅</li><li>・（3項）一次施設 工業金</li><li>・（4項）一次施設 鉛</li><li>・（4項）一次施設 亜鉛</li><li>・（5項）二次施設 銅</li><li>・（5項）二次施設 鉛</li><li>・（5項）二次施設 亜鉛</li><li>・（6項）二次施設 工業金</li><li>・（7項）セメントの製造の用に供する焼成炉</li><li>・（8項）廃棄物焼却炉（一般廃棄物）</li><li>・（8項）廃棄物焼却炉（産業廃棄物）</li><li>・（8項）廃棄物焼却炉（下水汚泥）</li><li>・（9項）水銀回収施設</li></ul>
届出施設名称	様式第3の6 水銀排出施設設置（使用、変更）届出書の別紙1 水銀排出施設の構造に記載されている「工場又は事業場における施設番号」を転記してください。
施設の使用状況	選択肢から選んでください。

### ③ 記載担当者

調査票を記入された方の所属、電話番号、氏名（フリガナ）を記入してください。当課からの問合せの際に使います。

### ④ 調査票の枚数

『/』を挟んで、右側に年度間の測定した回数、左側に何回目の測定分かるように数字を記載してください。

例：年度間の測定回数が3回で、2回目の測定の場合

→ 「2/3」と記入してください。

## 【水銀濃度測定記録】

### ア 測定者の所属及び試料採取位置

次の表のとおり、測定に関する情報を記入してください。

項目名	記入内容
測定者の所属	計量証明書等に記載されている会社名を記入してください。 例：株式会社●×測定
試料採取位置	ガス状水銀と粒子状水銀を採取した位置を記入してください。 例：煙突、煙道 等
再測定	記載した測定結果が再測定であるかどうかを選択肢から選んでください。

### イ ガス状水銀と粒子状水銀の測定時の情報

ガス状水銀と粒子状水銀の測定に関する情報を記入してください。

項目名	記入内容
測定時の排ガス流量(乾)	水銀測定時の乾き排ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h) を記入してください。 測定していない場合は「-」としてください。
当該年度の年間稼働時間	令和7年4月1日から令和8年3月31日までの当該年度の年間稼働時間を記入してください。

## ウ1 ガス状水銀濃度の測定結果

項目名	記入内容
測定年月日	ガス状水銀の測定年月日を西暦で記入してください。
Cs (実測値)	ガス状水銀の濃度 (実測値) を記入してください。 (※1)
C (酸素補正濃度)	標準酸素濃度で補正したガス状水銀の濃度を記入してください。(※1) (標準酸素補正について資料2をご参照ください。)
酸素濃度	測定時の酸素濃度を記入してください。
定量下限値 検出下限値	ガス状水銀の定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ ) と検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ ) をそれぞれ記入ください。

※1 Cs (実測値) 及び C (酸素補正濃度) が、定量下限値と検出下限値に対して以上又は未満であるかにより、ガス状水銀の濃度の記入方法が異なります。詳細は **資料2 水銀濃度の合算方法と表示方法** をご参照ください。

## ウ2 粒子状水銀濃度の測定結果

項目名	記入内容
測定年月日	粒子状水銀の測定年月日を西暦で記入してください。
Cs (実測値)	粒子状水銀の濃度 (実測値) を記入してください。 (※2)
C (酸素補正濃度)	標準酸素濃度で補正した粒子状水銀の濃度を記入してください。(※2) (標準酸素補正について資料2をご参照ください。)
酸素濃度	測定時の酸素濃度を記入してください。
定量下限値 検出下限値	粒子状水銀の定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ ) と検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ ) をそれぞれ記入ください。

※2 Cs (実測値) 及び C (酸素補正濃度) が、定量下限値と検出下限値に対して以上又は未満であるかにより、粒子状水銀の濃度の記入方法が異なります。詳細は **資料2 水銀濃度の合算方法と表示方法** をご参照ください。

## エ 全水銀濃度

全水銀濃度は、ガス状水銀と粒子状水銀の濃度の合算で表示します。ただし、ガス状水銀と粒子状水銀の C（酸素補正濃度）が、定量下限値と検出下限値に対して以上又は未満であるかにより、全水銀の計算方法等が異なります。詳細は **資料 2** **水銀濃度の合算方法と表示方法** をご参照ください。

## オ 備考

年度間の測定回数が遵守できなかった理由（施設故障、休止中等）、ガス状水銀と粒子状水銀を同日同時帯に測定できなかった理由、ガス状水銀と粒子状水銀の片方しか測定しなかった理由等がありましたら記入してください。

何もなければ、記入は不要です。

## 記入例 2 使用実績がなかった施設

水銀濃度測定結果等調査票		(令和 7 年4月1日 ~ 令和 8 年3月31日実績)		提出期限	令和 8 年 7 月 10 日
<b>1. 工場・事業場の概要</b>					
届出者(氏名又は名称)	①				
工場又は事業場の名称	①				
工場又は事業場の住所	①				
<b>2. 施設の概要</b>					
水銀排出施設の種類	②				
工場又は事業場における施設番号	②				
施設の使用状況	使用中 ・ 休止中 ・ 廃止				
<b>3. 水銀濃度測定記録</b>					
測定者(個人名は不要)					
試料採取位置					
粒子状水銀の測定	あり ・ なし				
測定について	(再測定) ではない ・ である				
測定値	測定単位	測定時の排ガス流量(乾)			
【全水銀】(酸素濃度補正值)	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$		$\text{Nm}^3/\text{h}$		
		当該年度の年間稼働時間	時間		
<b>【ガス状水銀】</b>					
測定年月日					
Cs(実測値)	測定値	測定単位	(ガス状水銀) 定量下限値		$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
C(酸素濃度補正值)	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$		(ガス状水銀) 検出下限値		$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
酸素濃度	%				
<b>【粒子状水銀】</b>					
測定年月日					
Cs(実測値)	測定値	測定単位	(粒子状水銀) 定量下限値		$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
C(酸素濃度補正值)	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$		(粒子状水銀) 検出下限値		$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
酸素濃度	%				
<b>備考</b>					
③					
<b>5. 記載担当者</b>					
所属	④				
電話番号	④				
フリガナ					
氏名					
					⑤

※ 令和8年3月31日時点で廃止されていない水銀排出施設ごとに調査票を作成してください。

① 工場・事業場の概要

令和8年3月31日時点における水銀排出施設に関する届出情報を記入してください。

項目名	記入内容
届出者（氏名又は名称）	届出に記載されている法人名
工場又は事業場の名称	届出に記載されている工場又は事業場の名称
工場又は事業場の住所	届出に記載されている工場又は事業場の住所

② 施設の概要

令和8年3月31日時点における水銀排出施設に関する届出情報を記入してください。

項目名	記入内容
水銀排出施設の種類	届出されている水銀排出施設の種類のうち該当するものを次の中から選択して記入してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・（1項）小型石炭混焼ボイラー（石炭火力発電所）</li><li>・（1項）小型石炭混焼ボイラー（産業用石炭燃焼ボイラー）</li><li>・（2項）石炭専焼ボイラー（石炭火力発電所）</li><li>・（2項）石炭専焼ボイラー（産業用石炭燃焼ボイラー）</li><li>・（2項）大型石炭混焼ボイラー（石炭火力発電所）</li><li>・（2項）大型石炭混焼ボイラー（産業用石炭燃焼ボイラー）</li><li>・（3項）一次施設 銅</li><li>・（3項）一次施設 工業金</li><li>・（4項）一次施設 鉛</li><li>・（4項）一次施設 亜鉛</li><li>・（5項）二次施設 銅</li><li>・（5項）二次施設 鉛</li><li>・（5項）二次施設 亜鉛</li><li>・（6項）二次施設 工業金</li><li>・（7項）セメントの製造の用に供する焼成炉</li><li>・（8項）廃棄物焼却炉（一般廃棄物）</li><li>・（8項）廃棄物焼却炉（産業廃棄物）</li><li>・（8項）廃棄物焼却炉（下水汚泥）</li><li>・（9項）水銀回収施設</li></ul>
届出施設名称	様式第3の6 水銀排出施設設置（使用、変更）届出書の別紙1 水銀排出施設の構造に記載されている「工場又は事業場における施設番号」を転記してください。
施設の使用状況	選択肢から選んでください。

**③ 備考**

年度内に使用実績がなかった理由を記入してください。

例：休止中、故障中等

**④ 記載担当者**

調査票を記入された方の所属、電話番号、氏名（フリガナ）を記入してください。当課からの問合せの際に使います。

**⑤ 調査票の枚数**

「1 / 1」と記入してください。

## 資料1 すいすい調査票の使い方

必要事項を入力するだけで、調査票に必要な計算が簡単にできる「すいすい調査票」を、横浜市ホームページに掲載しています。すいすい調査票をダウンロードして、必要事項を入力後、提出してください。

### 入力画面

	の箇所を上から順番に全てご入力ください	の箇所は入力間違いの可能性があるので確認してください																					
	の箇所は測定回数によって に変化する箇所がありますので、お気を付けください																						
<b>1</b>	<b>記載担当者</b> 所属 電話番号 フリガナ 氏名																						
<b>2</b>	<b>工場・事業場の概要</b> 郵便番号 区町名 番地等 工場・事業場の名称 届出者(氏名又は名称)																						
<b>3</b>	<b>施設の概要</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水銀排出施設の種類の 選択してください</th> <th>届出施設名称</th> <th>施設の使用状況 選択してください</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		水銀排出施設の種類の 選択してください	届出施設名称	施設の使用状況 選択してください																		
水銀排出施設の種類の 選択してください	届出施設名称	施設の使用状況 選択してください																					
<b>4</b>	年度間の測定回数 回																						
<b>5</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定者の情報(1回目)</th> <th>当該年度の年間稼働時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定業者(個人名は不要)</td> <td>年間稼働時間(時間)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		測定者の情報(1回目)	当該年度の年間稼働時間	測定業者(個人名は不要)	年間稼働時間(時間)																	
測定者の情報(1回目)	当該年度の年間稼働時間																						
測定業者(個人名は不要)	年間稼働時間(時間)																						
<b>6</b>	<b>水銀濃度測定時の基本情報(1回目)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">測定年月日</th> <th rowspan="2">測定時の乾き 排ガス量(Nm<sup>3</sup>/h)</th> <th rowspan="2">試料の採取位置</th> </tr> <tr> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス状水銀</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>粒子状水銀</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	測定年月日			測定時の乾き 排ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	試料の採取位置	年	月	日	ガス状水銀						粒子状水銀					
項目	測定年月日			測定時の乾き 排ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	試料の採取位置																		
	年	月	日																				
ガス状水銀																							
粒子状水銀																							
<b>7</b>	<b>排ガス中の水銀濃度結果(1回目)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>検出下限値 (<math>\mu\text{g}/\text{Nm}^3</math>)</th> <th>定量下限値 (<math>\mu\text{g}/\text{Nm}^3</math>)</th> <th>生値(実測値) 丸め前濃度(<math>\mu\text{g}/\text{Nm}^3</math>)</th> <th>酸素濃度(%)</th> <th>標準酸素濃度(%)</th> <th>再測定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス状水銀</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>選択してください</td> </tr> <tr> <td>粒子状水銀</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>選択してください</td> </tr> </tbody> </table>		項目	検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	生値(実測値) 丸め前濃度( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	酸素濃度(%)	標準酸素濃度(%)	再測定	ガス状水銀						選択してください	粒子状水銀						選択してください
項目	検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	生値(実測値) 丸め前濃度( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	酸素濃度(%)	標準酸素濃度(%)	再測定																	
ガス状水銀						選択してください																	
粒子状水銀						選択してください																	
<b>8</b>	<b>備考(1回目)</b> 																						

9

## 測定者の情報(2回目)

測定業者(個人名は不要)
--------------

## 水銀濃度測定時の基本情報(2回目)

項目	測定年月日			測定時の乾き 排ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	試料の採取位置
	年	月	日		
ガス状水銀					
粒子状水銀					

## 排ガス中の水銀濃度結果(2回目)

項目	検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	生値(実測値) 丸め前濃度( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	酸素濃度(%)	標準酸素濃度(%)	再測定
ガス状水銀						選択してください
粒子状水銀						選択してください

## 備考(2回目)

--

10

## 測定者の情報(3回目)

測定業者(個人名は不要)
--------------

## 水銀濃度測定時の基本情報(3回目)

項目	測定年月日			測定時の乾き 排ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	試料の採取位置
	年	月	日		
ガス状水銀					
粒子状水銀					

## 排ガス中の水銀濃度結果(3回目)

項目	検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	生値(実測値) 丸め前濃度( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	酸素濃度(%)	標準酸素濃度(%)	再測定
ガス状水銀						選択してください
粒子状水銀						選択してください

## 備考(3回目)

--

11



すいすい調査票(1)

すいすい調査票(2)

## 1 記載担当者

所属	
電話番号	
フリガナ	
氏名	

調査票を入力された方の所属、電話番号、氏名（フリガナ）を入力してください。  
当課からの問合せの際に使います。

## 2 工場・事業場の概要

郵便番号	-
区町名	郵便番号を入力後、区町名を確認してください
番地等	
工場・事業場の名称	
届出者(氏名又は名称)	

### (1) 郵便番号

工場・事業場所在地の郵便番号を入力してください。

### (2) 区町名

郵便番号を入力すると、区町名が表示されますので、内容を確認してください。

### (3) 番地等

区町名が正しければ、番地等を入力してください。

### (4) 工場・事業場の名称

令和8年3月31日時点での水銀排出施設を設置する工場又は事業場名称を入力してください。

### (5) 届出者（氏名又は名称）

令和8年3月31日時点での水銀排出施設を設置する法人名を入力してください。

### 3 施設の概要

プルダウンメニューA		
水銀排出施設の種類 選択してください	届出施設名称	施設の使用状況 選択してください
		プルダウンメニューB

(1) 水銀排出施設の種類

プルダウンメニューA から選択してください。

(2) 届出施設名称

届出された水銀排出施設設置（使用、変更）届出書の別紙1の「工場又は事業場における施設番号」を入力してください。

(3) 施設の使用状況

プルダウンメニューB から選択してください。

### 4 年度間の測定回数

年度間の測定回数	回
	プルダウンメニューC

プルダウンメニューC から選択してください。

※年度間に4回以上測定している場合は、すいすい調査票(2)のシートを使用してください。

### 5 測定者の情報及び当該年度の年間稼働時間

測定者の情報(1回目)	当該年度の年間稼働時間
測定業者(個人名は不要)	年間稼働時間(時間)

(1) 測定業者

計量証明書等に記載されている会社名を入力してください。

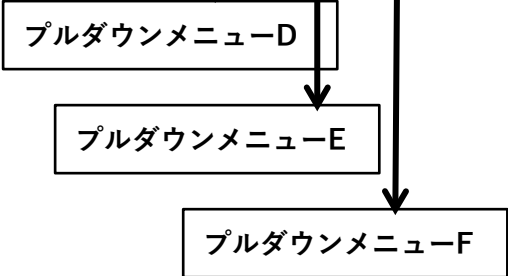
(2) 年間稼働時間（時間）

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの年間稼働時間を入力してください。

6 水銀濃度測定時の基本情報

水銀濃度測定時の基本情報(1回目)

項目	測定年月日			測定時の乾き 排ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	試料の採取位置
	年	月	日		
ガス状水銀	年	月	日		
粒子状水銀	年	月	日		



(1) 測定年月日

ガス状水銀及び粒子状水銀の採取した年月日を、プルダウンメニューD・E・Fから選択してください。

(2) 測定時の乾き排ガス量 (Nm<sup>3</sup>/h)

測定時の乾き排ガス量を入力してください。測定していない場合は、「-」を入力してください。

## 7 排ガス中の水銀濃度結果

排ガス中の水銀濃度結果(1回目)

項目	検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	生値(実測値) 丸め前濃度( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )	酸素濃度(%)	標準酸素濃度(%)	再測定
ガス状水銀						選択してください
粒子状水銀						選択してください

プルダウンメニュー I

(1) 検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )

ガス状水銀と粒子状水銀の検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ ) をそれぞれ入力してください。

(2) 定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )

ガス状水銀と粒子状水銀の定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ ) をそれぞれ入力してください。

(3) 生値(実測値) 丸め前濃度 ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )

ガス状水銀と粒子状水銀の測定結果で、有効数字2桁として3桁目以降を切り捨てる前の生値を入力してください

【注意点】

- ・ 同日に  $N = 2$  以上で測定している場合は、その平均値を入力してください。
- ・ 値が検出下限以上定量下限未満であっても生値を入力してください。
- ・ 検出下限未満の場合は「0」と入力ください。

(4) 酸素濃度 (%)

ガス状水銀と粒子状水銀の採取時の酸素濃度をそれぞれ入力してください。

(5) 標準酸素濃度 (%)

3 (1)の「水銀排出施設の種類」を選択すると自動的に表示されます。

(6) 再測定

測定結果が再測定であるかどうかをプルダウンメニューIから選択してください。

## 8 備考

次の事項があった場合は入力してください。

- (1) 年度間の測定回数が遵守できなかった場合  
測定回数を遵守できなかった理由（施設故障、休止中等）を入力してください。
- (2) ガス状水銀と粒子状水銀を同日同時間帯に測定できなかった場合  
同日同時間帯に測定できなかった理由を入力してください。
- (3) ガス状水銀と粒子状水銀の片方しか測定しなかった場合  
片方しか測定しなかった理由を入力してください。

## 9 2回目の測定結果 10 3回目の測定結果

年度間に複数回測定している場合は、4 ~ 8と同様に入力してください。

## 11 入力シート

水銀排出施設を複数所有する場合や1つの水銀排出施設で4回以上測定した場合は、「すいすい調査票(2)」のシートに情報を入力ください。また、必要なシートが足りない場合は、「すいすい調査票(2)」のシートをコピーして情報を入力してください。

**入力が終わりましたら、シート下部の調査票の内容を確認して、提出してください。**

※印刷等する場合は、3 (3)年度間の測定回数を入力すると自動的に必要な枚数分印刷範囲が設定されます。

## 資料2 水銀濃度の合算方法と表示方法

全水銀濃度は、ガス状水銀と粒子状水銀の濃度の合算で表示します。しかし、ガス状水銀、粒子状水銀の測定値の大きさにより、ガス状水銀と粒子状水銀の表示方法と全水銀の計算方法等が異なります。そのため、それぞれの計算方法等は、次の表の該当箇所に従って、計算してください。

		ガス状水銀			
		⊙ ← 濃度 → ⊚			
		検出下限未満	検出下限以上 定量下限未満	定量下限以上	
粒子状水銀	⊙ ↓ 濃度 ↓ ⊚	検出下限未満	④	⑤B	⑤A
		検出下限以上 定量下限未満	⑤E	②	③A
		定量下限以上	⑤C (粒子状>ガス状) ⑤D (粒子状<ガス状)	③B (粒子状>ガス状) ③C (粒子状<ガス状)	①

また、測定結果の酸素濃度補正值の計算方法は、次の式のとおり計算をしてください。

$$C = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times C_s$$

C : 酸素濃度  $O_n$  における水銀濃度 (0°C、101.32kPa) ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )

$O_n$  : 施設ごとに定める標準酸素濃度 (%)

$O_s$  : 排出ガス中の酸素濃度 (%)。

ただし、排出ガス中の酸素濃度が 20% を超える場合は、 $O_s = 20$  としてください。

$C_s$  : 排出ガス中の実測の水銀濃度 (0°C、101.32kPa) ( $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )

施設の種類	$O_n$ (%)
一の項、二の項 (石炭燃焼ボイラー等)	6
七の項 (セメント製造施設)	10
八の項、九の項 (廃棄物焼却炉等)	12

※ 表に記載のない項に掲げる施設については、酸素濃度補正は不要です。

① 両方が定量下限以上の場合

ガス状水銀と粒子状水銀をそれぞれ合算してください。

単位： $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状 水銀	0.03	0.11	3.4567	3.4	5.18505	5.1
粒子状 水銀	0.0003	0.0011	0.034567	0.034	0.0518505	0.051
全水銀	0.03	0.011	3.491267	3.4	5.2369005	5.2

注：実測の酸素濃度は 15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字 2 桁として 3 桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

② 両方が検出下限以上で定量下限未満の場合

ガス状水銀と粒子状水銀をそれぞれ合算し、定量下限以上の値と同等の精度が保証できない数値であることが分かるような方法（例えば括弧付にするなど）で表示してください。

単位： $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状 水銀	0.03	0.11	0.078901	(0.07)	0.1183515	(0.11)
粒子状 水銀	0.0003	0.0011	0.00078901	(0.0007)	0.00118351	(0.0011)
全水銀	0.03	0.011	0.07969001	(0.07)	0.11953501	(0.11)

注：実測の酸素濃度は 15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字 2 桁として 3 桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

- ③ 一方が定量下限以上で、他方が検出下限以上定量下限未満の場合  
大きい方の数字の表示方法に従ってください。

定量下限以上の数値が、検出下限以上定量下限未満の数値より小さい場合は、合算した数値をカッコ付きなどの方法で表示してください。

- ③ A ガス状水銀は定量下限以上で、粒子状水銀が検出下限以上定量下限未満の場合

単位： $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状 水銀	0.03	0.11	3.4567	3.4	5.18505	5.1
粒子状 水銀	0.0003	0.0011	0.00078901	(0.0007)	0.00118351	(0.0011)
全水銀	0.03	0.011	3.45748901	3.4	5.18623351	5.1

注：実測の酸素濃度は 15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字 2 桁として 3 桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

- ③ B ガス状水銀は検出下限以上定量下限未満で、粒子状水銀が定量下限以上の場合

単位： $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状 水銀	0.03	0.11	0.078901	(0.07)	0.1183515	(0.11)
粒子状 水銀	0.0003	0.0011	0.34567	0.34	0.518505	0.51
全水銀	0.03	0.011	0.424571	0.42	0.6368565	0.63

注：実測の酸素濃度は 15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字 2 桁として 3 桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

- ③ C ガス状水銀は検出下限以上定量下限未満で、粒子状水銀が定量下限以上の場合であって、粒子状水銀の濃度がガス状水銀の濃度より小さい場合

単位：μg/Nm<sup>3</sup>

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状水銀	0.03	0.11	0.078901	(0.07)	0.1183515	(0.11)
粒子状水銀	0.0003	0.0011	0.034567	0.034	0.0518505	0.051
全水銀	0.03	0.011	0.113468	(0.11)	0.170202	(0.17)

注：実測の酸素濃度は15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字2桁として3桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

- ④ 両方が検出下限未満の場合

検出下限未満であったことが分かるように表示してください。

単位：μg/Nm<sup>3</sup>

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状水銀	0.03	0.11	0.012345	<0.03	<u>(注)</u>	<0.03
粒子状水銀	0.0003	0.0011	0.00012345	<0.0003	<u>(注)</u>	<0.0003
全水銀	0.03	0.011	—	<0.03	—	<0.03

注：酸素濃度補正值の表示は不要です。

⑤ 一方が、検出下限未満の場合

検出下限未満の値を0（ゼロ）として合算して、検出下限以上であった数字の表示方法に従ってください。

⑤ A ガス状水銀は定量下限以上で、粒子状水銀が検出下限未満の場合

単位： $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注1)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状水銀	0.03	0.11	3.4567	3.4	5.18505	5.1
粒子状水銀	0.0003	0.0011	0.00012345	<0.0003	(注2)	<0.0003
全水銀	0.03	0.011	3.4567	3.4	5.18505	5.1

注1：実測の酸素濃度は15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

注2：酸素濃度補正值の表示は不要です。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字2桁として3桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

⑤ B ガス状水銀は検出下限以上定量下限未満で、粒子状水銀が検出下限未満の場合

単位： $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注1)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状水銀	0.03	0.11	0.078901	(0.07)	0.1183515	(0.11)
粒子状水銀	0.0003	0.0011	0.00012345	<0.0003	(注2)	<0.0003
全水銀	0.03	0.011	0.078901	(0.07)	0.1183515	(0.11)

注1：実測の酸素濃度は15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

注2：酸素濃度補正值の表示は不要です。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字2桁として3桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

⑤ C ガス状水銀は検出下限未満で、粒子状水銀が定量下限以上の場合

単位： $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注1)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状 水銀	0.03	0.11	0.012345	<0.03	(注2)	<0.03
粒子状 水銀	0.0003	0.0011	0.034567	0.034	0.0518505	0.051
全水銀	0.03	0.011	0.034567	0.034	0.0518505	0.051

注1：実測の酸素濃度は15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

注2：酸素濃度補正值の表示は不要です。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字2桁として3桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

⑤ D ガス状水銀は検出下限未満で、粒子状水銀が定量下限以上の場合であって、粒子状水銀の数値がガス状水銀の数値よりも小さい場合

単位： $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注1)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状 水銀	0.03	0.11	0.012345	<0.03	(注2)	<0.03
粒子状 水銀	0.0003	0.0011	0.0034567	0.0034	0.00518505	0.0051
全水銀	0.03	0.011	0.0034567	0.0034	0.00518505	0.0051

注1：実測の酸素濃度は15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

注2：酸素濃度補正值の表示は不要です。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字2桁として3桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

- ⑤ E ガス状水銀は検出下限未満で、粒子状水銀が検出下限以上定量下限未満の場合

単位： $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

	検出下限	定量下限	実測値		酸素濃度補正值 <sup>(注1)</sup>	
			丸め前 (測定値)	丸め後 (表示濃度)	丸め前 (算出値)	丸め後 (表示濃度)
ガス状水銀	0.03	0.11	0.012345	<0.03	(注2)	<0.03
粒子状水銀	0.0003	0.0011	0.00078901	(0.0007)	0.00118351	(0.0011)
全水銀	0.03	0.011	0.00078901	(0.0007)	0.00118351	(0.0011)

注1：実測の酸素濃度は15%と設定し、12%の標準酸素濃度（廃棄物焼却炉）に補正。

注2：酸素濃度補正值の表示は不要です。

※ 丸め後の濃度（表示する濃度）については、**有効数字2桁として3桁目以降を切り捨て**してください。ただし、表示する桁は、試料ガスにおける検出下限の桁までで、それより下の桁は表示しないでください。

## エ 備考

年度間の測定回数が遵守できなかった理由（施設故障、休止中等）、ガス状水銀と粒子状水銀を同日同時間帯に測定できなかった理由、ガス状水銀と粒子状水銀の片方しか測定しなかった理由等がありましたら記入してください。

何もなければ、記入は不要です。